

研究協力委員 各位

下表で基準値の「範囲外」の検査項目では、にを入れて、該当検査票または検査値をご提示くださいますように、どうぞ宜しくお願い致します。

	検査項目	基準値	検査の意義
血液	<input type="checkbox"/> 白血球数WBC	3300~9000/mm ³	急性感染症などでは数が増えます。逆に数が少なすぎるときに造血機能低下などの可能性あり。
	<input type="checkbox"/> 赤血球数RBC	【男】430~570 【女】380~500 (10 ⁴ /mm ³)	赤血球・血色素(ヘモグロビン;Hb)・ヘマトクリット(血中に占める赤血球の容積率)が少ない場合が貧血です。
	<input type="checkbox"/> 血色素量Hb	【男】13.5~17.5 【女】11.5~15.0 (g/dl)	
	<input type="checkbox"/> ヘマトクリット	【男】39.7~52.4% 【女】34.8~45.0%	
肝機能	<input type="checkbox"/> GOT (AST)	10~40 IU/l	肝臓に多く含まれる酵素で、組織障害があると、血液中の値が上昇し、肝障害が疑われます。
	<input type="checkbox"/> GPT (ALT)	5~45 IU/l	
	<input type="checkbox"/> γ-GTP (γGT)	男 80以下 IU/l 女 30以下 IU/l	胆汁うっ滞(肝炎・閉塞性黄疸・胆石による)・アルコール・鎮痛剤など)の影響で上昇します。
膵臓	<input type="checkbox"/> アミラーゼ	【血清】55~175 mu/ml 【尿】30~950 mu/ml	膵臓や膵液腺から分泌される酵素で、膵炎や耳下腺炎などの際に上昇することがあります。
腎臓機能	<input type="checkbox"/> 尿素窒素	8~23 mg/dl	腎臓の機能低下で尿素窒素の排泄が不十分になり、血中値が上昇して、尿毒症リスクが高くなる。
	<input type="checkbox"/> クレアチニン	【男】0.8~1.3 mg/dl 【女】0.6~1.1 mg/dl	筋肉中エネルギー源物質が役目を終えて腎臓から排泄されるが、腎障害で血中値が高くなる。
	<input type="checkbox"/> 尿酸	【男】3.8~7.5 mg/dl 【女】2.4~5.8 mg/dl	腎臓の排泄機能の低下や、尿酸生成の促進によって、血中値が高くなり、痛風などの原因となる。
脂質代謝	<input type="checkbox"/> 総コレステロール	140~199 mg/dl	過剰のコレステロールは、血管壁への付着、血管狭小化、弾力性低下で、動脈硬化の原因になる。
	<input type="checkbox"/> 中性脂肪	30~149 mg/dl	過剰の中性脂肪は、皮下や肝臓に蓄積して、肥満や脂肪肝の原因となり、動脈硬化も促進する。
	<input type="checkbox"/> HDLコレステロール	【男】40~70 mg/dl 【女】45~75 mg/dl	コレステロールを末梢血管から肝臓に運ぶ働きがあり、基準値未満では動脈硬化リスクが高い。
糖代謝	<input type="checkbox"/> 空腹時血糖	70~109 mg/dl	血糖値は、食事の変動し、間脳・自律神経・インスリンなどのホルモンで調節される。
	<input type="checkbox"/> HbA1c (糖化ヘモグロビン)	4.7~6.2% [NGSP値] (4.3~5.8% [JDS値])	およそ4~8週前の血糖状態を反映します。食事に影響されないため、糖代謝の診断に有効。
炎症	<input type="checkbox"/> CRP (C反応性蛋白質)	0.3 mg/dl 以下; 近年開発の高感度測定法では0.1 mg/dl 以下	感染症・関節リウマチ・がん・外傷・心筋梗塞・胃腸炎などで増加する。近年、健康長寿には、慢性炎症の抑制とCRP低値の重視が脚光を浴びている。
尿検査	<input type="checkbox"/> 尿蛋白	(-)	健康人でも一時的に出ることがあります。数回検査しても陽性の場合には、腎炎やネフローゼ等の腎臓疾患が疑われます。
	<input type="checkbox"/> 尿糖	(-)	(+)以上の場合には糖尿病が疑われるので、血糖などの再検査が必要です。
	<input type="checkbox"/> ウロビリノーゲン	(±)	血液中のビリルビン色素が腸内細菌により還元され、強陽性(2+)以上では肝障害が疑われる。
	<input type="checkbox"/> 潜血	(-)	腎臓、膀胱、尿道の炎症や結石、腫瘍、前立腺炎等で陽性となります。女性の生理中やその前後に影響され易く判定不能の場合あり。
肥満度	<input type="checkbox"/> 腹囲	男:85 cm未満、女:90 cm未満	食前に臍の高さの位置で計測する。メタボ症候群に導く内臓脂肪の過剰度を反映する。
	<input type="checkbox"/> BMI	18.5以上25.0未満	体重(kg)÷(身長(m)×身長(m))から求める肥満度。
	<input type="checkbox"/> 体脂肪率	年齢に伴って高くなるが、共通して良好な値:【男】14~21 【女】23~35	高値では生活習慣病、低値では免疫低下・無月経・飢餓などのリスクあり。
血圧	<input type="checkbox"/> 最大血圧	120~129 mmHg	病院での計測値は自宅より高めに出るので、一定環境で計測すべき。日本人間ドック学会が日本高血圧学会と異なる基準値を示したが、その後、新基準値への即時移行を留保した。
	<input type="checkbox"/> 最小血圧	80~84 mmHg	